

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和6年11月6日(水)
クラス名(年齢)	すみれ 組( 3 歳児)
年間テーマ	音の探究活動

## 1、活動テーマ

<テーマ>

「聞く」

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・先月「だんまりこおろぎ」の絵本の読み聞かせをした後、「またひみつの場所(いつも虫を捕りに行く原っぱ)に行ったらコオロギを探したいね」との声が出た。

## 2、活動スケジュール

・皆で「ひみつの場所(原っぱ)」に行き、虫の声を聞いたり、捕まえる。

## 3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・原っぱに向かう途中から、虫の声や鳥のなき声に耳を傾けられるよう言葉をかける。

・原っぱについてからも虫の声がしないか、皆で聞き耳を立ててみる。



## 4、探究活動の実践

<活動内容>

・原っぱに向かう時から、虫の声やその他の音に耳を傾ける。

・原っぱで虫を捕まえる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・原っぱに行く途中で、鳥が「ピーピー」と鳴く声が聞こえた。「どこだろう」「あそこらへんだね」などのやりとりがあり、皆で空を見上げたり、木々を見たりした。</p> <p>・原っぱに着き、虫が草の間を飛ぶ姿が見られたが、まずはなき声に耳を傾ける。なき声はしなかったが、姿は見えただけで捕まえる。</p> <p>・虫は夏に比べるとグンと減っていて、思うように捕まえることができず、残念そうにしていた。「コオロギいなかったね」「今日は捕まえられなかったね」「また今度こようね」と話していた。</p>	 

## 5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・鳥の鳴き声をCDで聞いてから、鳥の鳴き声に反応する子どもが増えている。保育のちょっとした働きかけで、子どもの興味が生まれるのだと感じた。

・コオロギは今日は出会えなかったが、いつか鳴き声を聞かせてあげたいと思った。